

医療の安全から学ぶこと

先月、県立はりま姫路医療センター教育棟にて、「近畿大学病院・辰己陽一安全対策部部長」の「危機管理」についてお話を聞く機会を得ました。

危機管理は「技術課題と適応課題」に分けられ、海水に浮かぶ流水に例えと、『水面より上が技術課題、水面下が適応課題』となり、『技術課題』に比べて『適応課題』への対策の難しさがお分かりいただけると思います。

『技術課題』とは、「医療機器の性能をアップする、医療スタッフの技能や知識をアップする、ツールやシステムを整備する」などで一定の効果が表れる課題です。

一方『適応課題』は、「混乱や動揺している患者さんの気持ちをどのように沈めればよいのか。治療の甲斐なく亡くなった患者さんのご家族にどのように接すれば良いか。処置方法が変わだと思っても主治医への発言を控えてしまった。」など、ツールやシステムの整備では解決できない、解決法のわからない課題で、「教訓を活かすこと、恐怖を除くこと、文化を醸成すること、価値観や意識の壁を超えること」が答えとなるような、答えが幾通りもある課題です。

ロータリークラブが取組む危機管理の中の各種のハラスメント対策は、ツールや報告システムで解決可能な『技術課題』であると私は思います。

一方で、会員増強は、勧誘する側・勧誘される側それぞれのヒトの気持ちに大きく関わるもので、言うなれば『適応課題』であると私は思います。

会員増強は「活気のあるクラブにしよう・魅力ある会にしよう・この人と共に学び共に成長しよう」等々の思いを会員がそれぞれ持ち、活動に参加し、粘り強く活動を続けても成果が出るとは限らない『適応課題』だと私は思います。

しかし、私たちは先人から有難い教訓をいただいています。言行はこれに照らしてから・・・、誰もが知る『四つのテスト』です。

『四つのテストの、“みんなのためになるかどうか”』に照らした言行に磨きを掛けていけば答えが見えてくるように思います。

共に学び言行に磨きを掛けていきましょう。

追) 藤波朱里さんがめでたくオリンピックパリ大会女子レスリングフリー53kg級で金メダルを獲得されました！

会員増強委員会アワー ●一色会員増強委員長

「各グループ討議のまとめ」



(1) 退会者0に向けての取組み

①なぜ退会者があるのか

- ・年齢、体調都合、車の運転不安などやむを得ない事情がある。
- ・ロータリーだけでなく社会風潮として、団体活動が衰退傾向にあり、その流れで入会者もなく、退会者も出てくる。

- ・高齢になり、皆さんに迷惑をかけるかもしれないと考えている。
- ・龍野ロータリークラブに魅力を感じなくなったからではないか。
- ・比較的新しい会員が退会するのは、交流・交友関係が深くないからではないか。
- ・夫婦共働きの時代であり、仕事・家事・育児など分担があり、社会貢献に重きを置いていない。

②退会者を無くすにはどうすればよいか。

- ・事情があるのでやむを得ない。
- ・昼例会・夜例会・web など参加の選択を増やす。
- ・同好会（ゴルフ・ワイン会・論語勉強会・川柳等）の実施により、世代間の交流を深める。

③それを実行するには何が必要か。

- ・例会の柔軟な参加方法を検討する。
- ・会員の後継者との接点を持つ。
- ・高齢等を理由に退会する場合には、後継者に引き継ぐような仕組みを作る。
- ・例会欠席時に、後継者等の代理出席を認める。

(2) 新規入会者について

- ・旧龍野市ブロック…2名追加、アポ日程 8/26、8/29、卓話者として1名
- ・太子・旧揖保郡ブロック…2名追加、2名削除、2名アポ日程調整
- ・宍粟ブロック…1名追加、2名アポ日程調整

上記に基づき、新入会員候補者リストを修正致します。また日程調整済みの方より、会員増強委員会と理事役員等でお話に伺います。ご協力ありがとうございました。



